

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月1日

上場会社名 株式会社 ノジマ  
コード番号 7419 URL <http://www.nojima.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 野島 廣司

問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役専務 (氏名) 三枝 達実

TEL 050-3116-1212

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日

平成23年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	114,069	19.9	1,651	26.4	3,116	14.8	1,809	2.3
23年3月期第2四半期	95,155	24.3	1,306	34.0	2,714	27.7	1,769	△10.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,832百万円 (4.3%) 23年3月期第2四半期 1,757百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	96.34	95.50
23年3月期第2四半期	94.66	93.67

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	59,168	22,342	37.6	1,156.88
23年3月期	64,054	20,678	32.2	1,098.65

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 22,264百万円 23年3月期 20,615百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成24年3月期第3四半期から個別となるため、表示しておりません。通期業績予想は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 個別業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	20,462,408 株	23年3月期	20,462,408 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,216,674 株	23年3月期	1,697,807 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	18,782,390 株	23年3月期2Q	18,693,285 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、平成24年3月期第3四半期から個別となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 個別業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
第2四半期連結会計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
第2四半期連結会計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災発生に伴う景気の落ち込みに一部回復基調は見られるものの、原子力災害の影響や電力供給の制限に加え、円高や欧州の通貨危機なども相まって、個人消費を含めた景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

家電流通業界におきましては、本年7月のアナログ停波や節電志向の高まり等により、薄型テレビ、白物家電の販売は順調に推移いたしました。8月から9月にかけてエコポイント需要と夏の猛暑の影響があった昨年と比べて低調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社は浦和パルコ店など5店舗の新規オープンのほか、スクラップ&ビルドや増床を行いました。

販売状況につきましては、薄型テレビやレコーダーなどのデジタルAV関連機器、エアコンや冷蔵庫などの白物家電、スマートフォンをはじめとする携帯電話の販売が好調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ、189億14百万円増加し、1,140億69百万円（前年同四半期比19.9%増）となりました。

収益につきましては、前第2四半期連結累計期間に比べ、営業利益は3億45百万円増加して16億51百万円（前年同四半期比26.4%増）、経常利益は4億1百万円増加して31億16百万円（前年同四半期比14.8%増）、四半期純利益は39百万円増加して18億9百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。

なお、引き続き人件費は増加傾向にありますが、国内の厳しい雇用環境を優秀な人材獲得のチャンスととらえております。人件費以外の販売費、一般管理費については、さらなる削減を継続しております。

また、平成23年7月12日開催の取締役会において、事業運営のさらなる効率化を図ることを目的とし、当社の100%子会社であるソロン株式会社を平成23年10月1日を効力発生日として吸収合併することを決議いたしました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産額は、新規店舗出店による有形固定資産の増加7億43百万円等がありましたが、現金及び預金の減少8億53百万円、売掛金の減少38億92百万円等により、前連結会計年度末に比べ48億85百万円減少し、591億68百万円（前連結会計年度末比7.6%減）となりました。

負債額は、未払法人税等の減少13億38百万円、負ののれんの償却による減少5億79百万円等により、前連結会計年度末に比べ65億49百万円減少し、368億26百万円（前連結会計年度末比15.1%減）となりました。

純資産は、剰余金の配当1億89百万円の支出があったものの、四半期純利益18億9百万円を計上したことにより、前連結会計年度末に比べ16億63百万円増加し、223億42百万円（前連結会計年度末比8.0%増）となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、26億87百万円（前年同四半期連結累計期間59億72百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は18億38百万円（前年同四半期連結累計期間は6億16百万円の使用）となりました。

これは主に、仕入債務の減少額35億39百万円等がありましたが、売上債権の減少額38億92百万円、たな卸資産の減少額9億5百万円等があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は19億64百万円（前年同四半期比69.7%増）となりました。

これは主に、新規店舗出店に伴う有形固定資産の取得による支出13億72百万円及び、敷金及び保証金の差入による支出6億51百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は7億28百万円（前年同四半期連結累計期間は8億3百万円の獲得）となりました。

これは主に、短期借入金の純増額12億39百万円がありましたが、長期借入金の返済による支出19億80百万円等があったためであります。

(3) 個別業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、特定子会社かつ完全子会社であるソロン株式会社の吸収合併に伴い、個別業績予想のみとなり、連結業績予想はなくなりました。

また、平成23年5月10日に発表いたしました平成24年3月通期の個別業績予想を下記のとおり修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成23年11月1日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	160,000	—	5,000	3,000	160.28
今回修正予想（B）	220,000	2,300	5,600	7,200	384.68
増減額（B－A）	60,000	—	600	4,200	—
増減率（％）	37.5	—	12.0	140.0	—
（ご参考）前期実績 （平成23年3月期）	157,930	1,018	4,761	2,597	138.76

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、93円57銭であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,606,035	2,752,127
受取手形及び売掛金	12,915,707	9,023,364
商品及び製品	23,190,035	22,301,047
原材料及び貯蔵品	23,292	7,135
繰延税金資産	1,279,993	1,174,929
未収入金	5,340,986	4,222,255
その他	575,374	660,148
貸倒引当金	△16,628	△1,900
流動資産合計	46,914,796	40,139,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,560,979	5,180,911
工具、器具及び備品(純額)	1,618,517	1,903,965
土地	3,480,275	3,442,050
その他(純額)	447,269	323,615
有形固定資産合計	10,107,042	10,850,542
無形固定資産		
のれん	63,843	47,584
ソフトウェア	21,151	716,364
その他	74,389	58,088
無形固定資産合計	159,384	822,036
投資その他の資産		
投資有価証券	499,665	504,386
繰延税金資産	569,114	564,694
敷金及び保証金	5,499,669	5,964,642
その他	333,380	364,044
貸倒引当金	△28,523	△40,637
投資その他の資産合計	6,873,306	7,357,131
固定資産合計	17,139,733	19,029,710
資産合計	64,054,529	59,168,819

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,943,717	15,404,317
短期借入金	760,132	2,000,000
1年内償還予定の社債	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	2,909,793	1,920,881
未払金	2,967,619	3,328,112
未払法人税等	2,240,302	901,614
未払消費税等	323,759	311,592
ポイント引当金	2,478,353	2,737,017
その他	2,990,138	1,340,048
流動負債合計	33,863,816	28,193,583
固定負債		
社債	625,000	500,000
長期借入金	3,807,519	3,139,501
販売商品保証引当金	1,900,351	2,320,401
役員退職慰労引当金	142,993	145,275
退職給付引当金	1,288,146	1,373,442
資産除去債務	25,588	25,740
負ののれん	1,062,185	482,811
その他	660,108	645,629
固定負債合計	9,511,893	8,632,802
負債合計	43,375,709	36,826,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,323,175	4,323,175
資本剰余金	4,227,970	4,297,196
利益剰余金	12,965,955	14,587,706
自己株式	△913,292	△978,472
株主資本合計	20,603,808	22,229,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,873	35,326
その他の包括利益累計額合計	11,873	35,326
新株予約権	63,137	77,500
純資産合計	20,678,820	22,342,433
負債純資産合計	64,054,529	59,168,819

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	95,155,282	114,069,863
売上原価	77,216,719	92,171,278
売上総利益	17,938,562	21,898,585
販売費及び一般管理費	16,631,951	20,246,972
営業利益	1,306,610	1,651,612
営業外収益		
受取利息	14,600	13,880
仕入割引	835,037	886,912
負ののれん償却額	603,444	579,373
その他	81,199	118,792
営業外収益合計	1,534,282	1,598,959
営業外費用		
支払利息	90,898	82,779
社債利息	2,751	1,876
その他	32,559	49,874
営業外費用合計	126,209	134,529
経常利益	2,714,683	3,116,042
特別利益		
投資有価証券売却益	202	—
貸倒引当金戻入額	3,407	—
本部移転費用引当金戻入額	12,013	—
賃貸借解約補償金	—	11,018
その他	549	1,382
特別利益合計	16,173	12,400
特別損失		
固定資産除却損	26,425	103,207
減損損失	7,804	16,041
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	203,669	—
その他	81,033	58,017
特別損失合計	318,931	177,266
税金等調整前四半期純利益	2,411,925	2,951,176
法人税、住民税及び事業税	928,876	1,033,559
法人税等調整額	△286,429	108,219
法人税等合計	642,446	1,141,779
少数株主損益調整前四半期純利益	1,769,478	1,809,396
四半期純利益	1,769,478	1,809,396



(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	52,327,366	60,896,266
売上原価	42,380,192	49,296,098
売上総利益	9,947,174	11,600,168
販売費及び一般管理費	8,749,664	10,575,807
営業利益	1,197,509	1,024,361
営業外収益		
受取利息	7,838	7,321
仕入割引	452,278	412,445
負ののれん償却額	301,722	289,686
その他	40,717	57,185
営業外収益合計	802,555	766,638
営業外費用		
支払利息	47,704	41,387
社債利息	1,323	894
寄付金	18,334	16,668
その他	10,173	22,309
営業外費用合計	77,535	81,259
経常利益	1,922,529	1,709,740
特別利益		
投資有価証券売却益	10	—
貸倒引当金戻入額	1,614	—
貸借解約補償金	—	11,018
その他	549	1,214
特別利益合計	2,175	12,232
特別損失		
固定資産除却損	25,600	56,377
減損損失	5,293	13,396
その他	24,745	4,245
特別損失合計	55,639	74,018
税金等調整前四半期純利益	1,869,065	1,647,953
法人税、住民税及び事業税	498,620	686,783
法人税等調整額	△34,003	△37,966
法人税等合計	464,617	648,817
少数株主損益調整前四半期純利益	1,404,448	999,136
四半期純利益	1,404,448	999,136

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,769,478	1,809,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,496	23,452
その他の包括利益合計	△11,496	23,452
四半期包括利益	1,757,982	1,832,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,757,982	1,832,849

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,404,448	999,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△208	13,746
その他の包括利益合計	△208	13,746
四半期包括利益	1,404,240	1,012,883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,404,240	1,012,883

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,411,925	2,951,176
減価償却費	668,425	716,951
減損損失	7,804	16,041
負ののれん償却額	△603,444	△579,373
退職給付引当金の増減額(△は減少)	56,010	85,295
ポイント引当金の増減額(△は減少)	369,531	258,664
販売商品保証引当金の増減額(△は減少)	289,428	420,050
受取利息及び受取配当金	△21,507	△20,785
支払利息	90,898	82,779
投資有価証券評価損益(△は益)	72,606	19,995
売上債権の増減額(△は増加)	3,172,408	3,892,343
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,267,583	905,144
未収入金の増減額(△は増加)	△69,102	1,118,730
仕入債務の増減額(△は減少)	△611,817	△3,539,400
その他	△921,333	△2,125,395
小計	644,249	4,202,216
利息及び配当金の受取額	21,469	20,773
利息の支払額	△92,076	△85,546
法人税等の支払額	△1,190,568	△2,298,725
営業活動によるキャッシュ・フロー	△616,925	1,838,716
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△850,878	△1,372,135
無形固定資産の取得による支出	△115,173	△22,891
敷金及び保証金の差入による支出	△259,015	△651,732
敷金及び保証金の償還による収入	38,505	51,910
その他	29,148	30,258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,157,414	△1,964,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,023,852	1,239,868
長期借入れによる収入	—	324,000
長期借入金の返済による支出	△1,076,830	△1,980,930
社債の償還による支出	—	△125,000
配当金の支払額	△149,834	△189,563
その他	6,592	3,592
財務活動によるキャッシュ・フロー	803,779	△728,032
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△970,559	△853,907
現金及び現金同等物の期首残高	6,943,445	3,541,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,972,885	2,687,909

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

当社グループは、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第2四半期連結累計期間において、平成23年5月10日開催の取締役会決議に基づき、187,646千円の剰余金の配当を行っております。

その結果、当第2四半期会計期間末において利益剰余金が14,587,706千円となっております。

また、平成23年8月2日開催の取締役会決議に基づき、従業員インセンティブ・プラン「従業員持株E S O P 信託」を導入し、自己株式469,500株を三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託者:日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株E S O P 信託口)、以下「E S O P 信託口」という。)に預け入れたため、自己株式と資本剰余金がそれぞれ71,387千円増加しております。

その結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,297,196千円、自己株式が978,472千円となっております。

なお、当第2四半期連結会計期間末にE S O P 信託口が所有する当社株式数及び金額は、それぞれ469,500株及び309,870千円であります。

(7) 重要な後発事象

連結子会社との合併

1. 企業結合の概要

当社は、平成23年7月12日開催の取締役会において、当社の特定子会社かつ完全子会社であるソロン株式会社(以下「ソロン」という。)を吸収合併することを決議し、同日付で締結した合併契約に基づき、平成23年10月1日付で合併いたしました。

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

(結合企業)

名称 株式会社ノジマ

事業の内容 デジタルAV関連機器、IT・情報関連機器、家庭用電化製品、家庭用ゲーム関連機器及びソフトの販売

(被結合企業)

名称 ソロン株式会社

事業の内容 携帯電話等通信関連機器の卸売、携帯電話・PHSその他付帯するサービス

② 企業結合日

平成23年10月1日

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、ソロンは解散いたしました。

④ 結合後企業の名称

株式会社ノジマ

⑤ 取引の目的を含む取引の概要

ソロンは当社の100%出資の連結子会社であり、当社グループにおける通信関連機器販売を担っております。

家電流通業界におきましては、通信機器と家電製品が融合した商品も急増し、また、市場においてもこのような一体化した商品への需要が高まっております。

このような動向に迅速かつ柔軟に対応できるようなグループ体制に移行することにより、お客様に必要とされる最適なサービスの提供を実現することを目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理いたしました。